

Rotary



分断された世界を癒す 会長主催 平和会議



*Hilton Istanbul Bomonti Hotel
& Conference Center*

トルコ (イスタンブール)

2025年2月20日～22日

2025年ロータリー 会長主催平和会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。この集いは、理解を育み、紛争を解決し、分断を超えたつながりを生み出そうとするロータリーの揺るぎない献身の表れとも言えます。

文化、大陸、思想が調和し、その象徴とも言えるここイスタンブールで皆さまにお会いできることを光栄に思います。この地の豊かな歴史と壮大な精神は、しばしば違いによって分断された世界においても結束が可能であることを、私たちに思い起こさせてくれます。

この会議は単なるイベントではなく、行動を呼びかけるものです。ここには、私たちが平和構築について学び、見識と経験を共有し、世界の最も差し迫った課題を理解するために絆を深める機会があります。

私たちはまた、バーチェシエヒル大学のオットー & フラン・ウォルター・ロータリー平和センターの新設を祝うためにここにいます。同センターでは、一人ひとりが紛争に取り組み、持続的な解決策を生み出すための知識とスキルを身につけます。このセンターは、平和が単なる願望ではなく、現実となる世界をつくろうとする私たちの使命にとって、重要な前進をもたらすでしょう。

今ここで、私たちのつながりを称えあい、待ち受ける仕事への意欲を新たにしようではありませんか。力を合わせれば、平和という私たちの共通のビジョンを、一つのつながり、一つのプロジェクト、一つの地域社会を通じて意義ある行動に変換させることができます。

皆さまがここにおられることは、平和という大義への献身の証です。ご一緒に、この会議を「分断された世界を癒す」という私たちの決意を固める変革的な体験としましょう。

心を込めて

Stephanie A. Uchick

ステファニー A. アーチック

国際ロータリー会長

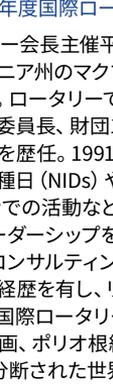
目次

以下をクリックしてページをお開きいただけます



講演者とパネリスト	3
司会者	4
プログラム	5
2月20日(木)	5
2月21日(金)	6
11:00-12:15 分科会	7
13:45-15:00 分科会	8
2月22日(土)	9
11:00-12:15 分科会	10
そのほかの情報	11
バリアフリー・体が不自由な方へのサービス	11
ビジネスセンター	11
服装	11
上着預かり所	11
行動規範	11
遺失物取扱所	11
手荷物預り所	11
音楽と視覚資料	11
写真	11
プライバシー	12
瞑想／祈祷の部屋	12
登録	12
登録者バッジ	12
安全とセキュリティ	13
応急医務・非常時	13
近くの病院・救急医療	13
健康とウェルビーイング	13
個人の安全	13
対面での参加に伴うリスク	13
会場監督	14
同時通訳	14
喫煙	14
交通	14
謝辞	15
エンターテイメント	15
平和会議企画委員会	15
会議ホスト組織委員会	15

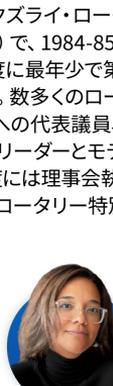
講演者とパネリスト



ステファニー・A.アーチック

2024-25年度国際ロータリー会長

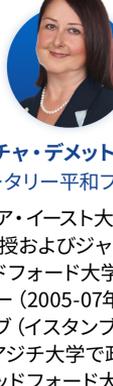
2025年ロータリー会長主催平和会議の主催者。米国ペンシルバニア州のマクマリー・ロータリークラブ会員。ロータリーで理事、財団管理委員、戦略計画委員長、財団100周年祝賀委員長などの重要職を歴任。1991年に入会して以来、全国予防接種日 (NIDs) やベトナム、ポーランド、ウクライナでの活動など、国際的な奉仕プロジェクトでリーダーシップを發揮。キャリアでは、高等教育、コンサルティング、エンターテイメントの取得で経歴を有し、リーダーシップの博士号を取得。国際ロータリー会長として、ロータリーの行動計画、ポリオ根絶、本平和会議のテーマである「断された世界を癒す」ことに重点を置いている。



マーク・ダニエル・マローニー

2024-25年度ロータリー財団管理委員長

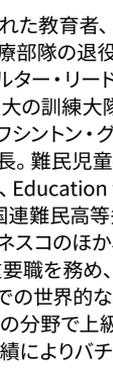
米国アラバマ州のジケーター・ロータリークラブ会員。税法、遺産、農業法を専門とする Blackburn, Maloney, and Schuppert 法律事務所の主要弁護士。1980年にロータリー入会。2019-20年度に国際ロータリー会長を務め、新型コロナウイルスのパンデミック中にロータリーで初のバーチャル大会を主導。ロータリーでこれまでに理事、財団管理委員、2014年シドニー国際大会委員長、運営審査委員長など幅広いリーダー職を歴任。自身の地元でも、体の不自由な人への食事宅配サービスプロジェクトの委員長や複数の団体に役員を務めた経験を持ち、積極的に活動。ロータリアンで弁護士のゲイ夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会員として財団を支援している。



サファク・アルバイ

平和会議委員長、2014-16年度国際ロータリー理事

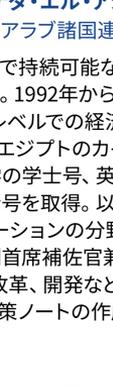
2025年会長主催平和会議の企画委員長。中東工科大学 (トルコ) の物理学科を卒業。電子計装の分野において会社経営・所有の経験を持つ。アンカラのクズライ・ロータリークラブの創設者 (1974年) で、1984-85年度にクラブ会長、1990-91年度に最多少で第2430地区のガバナーを務める。数多くのロータリー委員会委員、数々の会議への代表議員、ゾーン研究会やセミナーの研修リーダーとモデレーターを歴任。2015-16年度には理事会執行委員長を務め、イラクへの国際ロータリー特別代表を務めた。



ヘザー・アシュビー

独立研究者

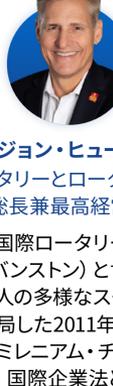
独立研究者であり、国家安全保障とテクノロジーが交差する分野で活躍。米国平和研究所の破壊的技術・人工知能で副所長を務めた経験を持つ。国土安全保障省に7年間勤務した後、米国平和研究所の一員となり、国内外の問題に取り組む。研究分野は人工知能、デジタルセキュリティと安全性。



ヤシャール・アタシク

環境の持続可能性のためのロータリー行動グループ

イスタンブールの Footprint and Sustainability Society (フットプリントと持続可能性協会) の理事兼創設会長。環境の持続可能性ロータリー行動グループ (ESRAG) の前委員長。ペンシルバニア大学でオペレーションズリサーチの博士号を取得後、学会を離れトルコの複合企業、サブグループに入社。この時から持続可能性の問題への関心を高める。2014年にイスタンブール・アカルケント・ロータリークラブに入会。環境の重要性を強調し、第2420地区環境委員会の初代委員長を務める。環境の持続可能性ロータリー行動グループの活動では、気候に関わるロータリーの取り組みのロードマップ作成を主導。2023年12月にアラブ首長国連邦のドバイで開催された国連気候変動枠組条約締約国会議 (COP 28) で、ロータリー代表者兼ロータリー計画委員を務めた。



アイチャ・デメット・アタイ

ロータリー平和フェロー

北キプロスのニア・イースト大学のコミュニケーション学部准教授およびジャーナリズム学部の学部長。ブラッドフォード大学 (英国) のロータリー平和フェロー (2005-07年度) で、ピース・ロータリークラブ (イスタンブール) の創立会長。トルコのボヤジチ大学で政治学と国際関係の修士号、ブラッドフォード大学で紛争解決の修士号、北キプロスの東地中海大学でコミュニケーションとメディア研究の博士号を取得。研究の焦点は平和コミュニケーション、平和ジャーナリズム、政治コミュニケーション。



スアート・ペイサン

会長主催平和会議企画委員

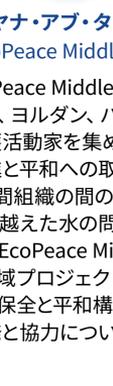
Acmena Technology, Management & Investment 社の共同設立者。中東、バルカン半島、独立国家共同体、アフリカを含む地域の研究開発とマーケティング・セールス・サービスを担当する副社長として、Nortel Canada 社の電気通信合併会社、Netas 社でキャリアを開始。システムエンジニアのトルコ社でのゼネラルマネージャー、ならびに再生可能エネルギー企業の Anel Group 社の理事兼ゼネラルマネージャーを務めた経験も持つ。各種団体や協会の理事を歴任。イスタンブール工科大学チップ設計財団の創設委員で、ICT Media 社のアドバイザー兼コラムニスト。1990年にロータリーに入会し、クラブ会長、ガバナー補佐、地区幹事、地区ガバナーを歴任し、地区協議会やその他の会議の議長を務めた。マンチェスター大学卒 (電子技術専攻)。



ローズ・カルダレリ

ユニセフ・米国事務所への国際ロータリー代表

国際的に認められた教育者、医療戦略家、人道主義者。米国医療部隊の退役士官であり、ワシントンDCのウォルター・リード陸軍医療センターで同国陸軍の最大の訓練大隊と最初の負傷戦士旅団を指揮。ワシントン・グローバル・ロータリークラブ現会長。難民児童への教育アクセスを支援する団体、Education for All Coalition のCEO。国連、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、ユネスコのほか、多くの教育・人道支援団体で重要職を務め、気候変動対策、移住、教育の分野での世界的な取り組みに貢献。教育と医療管理の分野で上級学位を取得。その人道的な功績によりバチカンから表彰を受けた。



モハメド・デラワール

アラブ諸国連盟への国際ロータリー代表

エジプトの著名なビジネスマンでエンジニア。アレクサンドリア大学 (エジプト) で土木工学の理学士号を取得し、Apleona Egypt 社のCEOや Egyptian Co. for Engineering Equipment 社の社長など、学術、コンサルティング、ビジネスの分野でリーダー職を務めた。エジプトのアレクサンドリアにあるアメリカ商工会議所とアルモサント慈善団体の理事。現在はエジプト実業家協会やその他団体の会員。ロータリーでは、戦略計画やリーダー育成、国連気候変動会議へのロータリーの参加推進など、国際的な取り組みで重要な役割を果たす。ロータリーと職業の両方における奉仕と貢献によって評価されている。

ナダ・エル・アジジ

アラブ諸国連盟

アラブ諸国連盟で持続可能な開発と国際協力の部長を務める。1992年からアラブ連盟に勤務し、地域・国際レベルでの経済と社会開発の専門知識を習得。エジプトのカイロにあるアメリカン大学で経済学の修士号、英国のカンブリア大学で経営学修士号を取得。以前には社会経済問題とコミュニケーションの分野でアラブ諸国連盟事務総長の副首席補佐兼アドバイザーを務め、経済統合、改革、開発などの重要な問題に対する助言と政策ノートを作成を担当。

エスラ・ハティポグル

パーチェシエヒル大学

パーチェシエヒル大学学長で、政治学、国際関係、欧州研究の分野で堅実な経歴を持つ著名な学者。ニシヤンタシュ大学学長やパーチェシエヒル大学の学長アドバイザーなど、学術分野と行政分野での重要職を歴任。ロシアの外交政策、黒海地域、欧州連合とトルコの関係を専門とし、最近では高等教育と人工知能が教育に与える影響に焦点を当てている。数々の賞を受賞しているほか、国際的な研究プロジェクトに参加した経験を持ち、現在も複数の専門団体に積極的に関わっている。

ジュリー・ホーク

Build Up

非政府団体、Build Up のデジタル平和構築主任。デジタル技術が紛争に与える影響、およびデジタル技術を戦略的な平和構築の取り組みに活用する方法を理解することに努めている。第三者による紛争対策、世界の青少年の平和教育、デジタル平和構築プログラムの設計と管理において10年以上の経験を持つ。現在はノートルダム大学クロック国際平和研究所で平和学と社会学の博士課程に在学し、オンライン空間での積極的なグループ間接触の条件について研究中。

ジョン・ヒューコ

国際ロータリーとロータリー財団の事務総長兼最高経営責任者

事務総長として国際ロータリーの世界本部 (米国イリノイ州エバンストン) と世界7カ所にある国際事務局の800人の多様なスタッフを率いる。ロータリーに加入した2011年以前には、米国の外国支援機関、ミレニアム・チャレンジ公社の副社長として活躍。国際企業法とグローバル開発を専門とし、法律事務所 Baker & McKenzie の元国際パートナー。1990年代はじめ、ウクライナ駐在中に、ソ連解体後のウクライナ新憲法の初期草案を作成するグループを支援。キエフで初のロータリークラブの創立会員。カーネギー国際平和基金の客員研究員、ジョージタウン大学法学部の非常勤教授。ハーバード大学から法学士号、オックスフォード大学から近代史の修士号を取得。

シェルドン・ヒメルファーブ

International Panel on the Information Environment

自身が共同設立したNPO組織、International Panel on the Information Environment (IPIE) の理事長。NPO組織、PeaceTech Lab の創設者兼元最高経営責任者。米国上院外交委員会委員の外交政策アドバイザーを務めたほか、ヨークシャーテレビ局 (英国) の北米ドキュメンタリー制作を主導。Common Ground Productions 社のCEO兼制作総責任者を務めた経験を持つ。受賞歴のある映画監督、ナショナル・パブリック・ラジオ、映画のオンラインコーナーでもあり、政治、大衆文化、紛争に関する数多くの記事を執筆。オックスフォード大学から博士号、ジョージ・ホプキンス大学から文学士号を取得。アメリカン大学のキャピトルエリア平和構築者賞とプロメテウス・ソーシャル・エンタープライズ賞を受賞。

フレディ・ムタンガ

Kigali Genocide Memorial

1994年のツチ族に対する大虐殺の生存者。NGO組織、Aegis TrustのCEO、キガリ虐殺記念館の理事。ルワンダの平和教育プログラムの開発において重要な役割を果たす。このプログラムは現在、同国の国立学校のカリキュラムの一部となり、複数のアフリカ諸国でも採用されている。プロジェクト管理と教育の分野で上級学位を取得。2016年に Justice and Security Foundation Peace Award (正義と安全保障財団平和賞) を受賞するなど、平和構築への貢献が国際的に認められている。現在はNPO組織、Miracle Corner Rwandaの委員長、南カリフォルニア大学シヨア財団アドバイザー、教育における暴力的な過去に関するユネスコ諮問グループの委員。また、大虐殺の影響と和解において「許し」が果たす役割について世界各地で講演している。

クミ・ナイドゥ

人権と環境正義の活動家

南アフリカの人権と環境正義の活動家、スタンフォード大学の「Payne Distinguished Lecturer」シリーズの講師、化石燃料不拡散条約の名誉会長。アムネスティ・インターナショナルの元事務総長であり、南半球の発展途上国出身者として初めてグリーンピース・インターナショナルを主導。NPO組織、CIVICUS: World Alliance for Citizen Participation (市民参加のための世界同盟) の元事務局長。1994年4月には、南アフリカ初の民主的選挙を監督した独立選挙委員会の研修責任者も務めた。アリゾナ州立大学サンダーボードグローバル経営大学院の名誉教授で、NPO組織、Africans Rising for Unity, Justice, Peace, and Dignityのグローバル大使。財団、Riky Rick Foundation for the Promotion of Artivismの共同創設者兼理事。

K.R. ラビンドラン

元国際ロータリー会長

2015-16年度国際ロータリー会長、2020-21年度ロータリー財団管理委員長。スリランカ出身の著名な起業家で、コロンボ・ロータリークラブ会員。スリランカ、インド、ケニア、英国で事業を展開し、40カ国以上に顧客を持つ大手パッケージ会社の創設者。同社は、その倫理的な経営慣習と革新的な技術で評価されている。スリランカのポリオ根絶活動を先導したほか、津波後に25の学校を建設したり、乳がん検査設備を設置したりするなど、ロータリープロジェクトで主導的な役割を果たした。スリランカの「スリランカの宝石」の称号や記念切手の授与など数多くの賞を受賞。バナティ夫人とともにロータリー財団アーチ・クラフ・ソサエティのメンバーとなっている。

エリザベス・スペハー

国連政治・平和構築局

国連政治・平和構築局の平和構築支援担当事務次長補として、国連本部と現場で活動し、政治、開発、平和構築、紛争予防の取り組みを主導。国連事務総長特別代表と国連キプロス平和維持軍の元責任者であり、キプロスに関する事務総長特別顧問の代理を務めた経験を持つ。政策・調停部長、南北アメリカ・欧州部長、旧国連政治局の欧州部長を歴任。国連に勤務する前は、12年以上にわたり米州機構 (OAS) の高官を務めた。

ヤナ・アブ・タレブ

EcoPeace Middle East

地域団体、EcoPeace Middle Eastのヨルダン代表。同団体は、ヨルダン、パレスチナ、イスラエルの環境保護活動家を集め、中東での持続可能な開発の促進と平和への取り組みを推進している。政府と民間組織の間の調整役として、環境保護と国境を越えた水の調整に取り組んでいる。2000年からEcoPeace Middle Eastに勤務し、副所長や地域プロジェクトマネージャーなどを歴任。環境保全と平和構築、教育を通じた持続可能な開発と協力について、国際会議で頻繁に講演。

[目次へ戻る](#)

司会



ナーラ・エルシャル

ロータリー平和フェロー

青少年、女性、難民のエンパワメントに焦点を当てた能力構築の分野で10年以上の経験を持つ開発セクターの専門家。経済学の学士号およびジェンダーと開発の修士号を取得。2024年にマケレレ大学（ウガンダ、カンパラ）のロータリー平和センターから、平和と紛争の変革に関する大学院レベルの専門能力開発修了証を取得。研修者、教育設計者、プロジェクトマネージャーなど多様なキャリアを通じて、さまざまな非営利団体やその他の団体と協力。読書と持続可能性を推進する社会事業、Book Shuffleの創設者でもある。ロータリー平和フェローシップの専門能力開発修了証プログラムの一環として「Books for Peace」と呼ばれる社会変革イニシアチブを実施し、エジプトのカイロで難民の子どもと教師に読書教材を提供した。



エミル J. モアワド

ローターアクター／ロータリアン

ロータリーで20年以上奉仕してきた献身的なロータリアン／ローターアクター。14歳でインターアクト、18歳でローターアクトに入会。2021年にロータリークラブに入会し、現在はサヘル・メトン・ロータリークラブ会長。レバノンのロータリー公共イメージコーディネーターも務める。地区RYLA委員長、地区ローターアクト委員長、3大陸9カ国から成る第2452地区のローターアクト代表など重要職を歴任。建築家、起業家としてのキャリアを持ち、観光事業Show Me Lebanonを共同設立したほか、エーデン・カントリークラブ・ホテルリゾートの共同所有者でもある。社会的インパクトをめざし、献血団体DSCレバノンおよび廃棄物管理に取り組むGreen Trackを共同設立。非政府団体Generations for Peaceの平和パイオニアに選ばれたほか、レバノンの平和のためのロータリー行動グループの創設メンバーでもある。

[目次へ戻る](#)



プログラム

以下を内容とする基調講演、パネルディスカッション、分科会が行われます。

- ローターリー会員、プログラム参加者、パートナー、地域社会のリーダーが平和を提唱するための数多くの方法を紹介
- 平和構築に関するストーリーと洞察を分かち合い、アイデアを模索
- 地元や世界で平和を築くための対話を促進

プログラムはすべてHilton Istanbul BomontiのGrand Ballroom (Level M4) で行われます。以下のプログラムは変更される場合があります。

2月20日 (木)

17:00-21:00 平和会議へのチェックイン

Grand Ballroom Foyer

19:00-21:00 歓迎レセプション

Grand Ballroom Foyer

目次へ戻る



2月21日 (金)

7:30-11:00 平和会議へのチェックイン
Grand Ballroom Foyer

9:00-10:30 開会本会議
「分断された世界における平和」
Grand Ballroom 3 & 4

司会

ナーラ・エルシャル (ロータリー
平和フェロー)

エミル・モアワド (ローターアク
ター/ロータリアン)

講演

サファク・アルパイ

ステファニー A. アーチック

エスラ・ハティポグル

エリザベス・スペハー

エンターテイメント

ブックチェックメジエ

民族舞踊グループ

10:30-11:00 休憩
Grand Ballroom Foyer

[目次へ戻る](#)



11:00-12:15 分科会

Grand Ballroom 1-4

リーダーの対話：分断を癒す**場所：**Grand Ballroom 1**種類：**インタラクティブなワークショップ

内容：参加者は象徴的に他者の経験を自分自身のものとして受け入れ、深く耳を傾け、誠実な対話で応答します。また、対立を修復し、地域社会を強化し、争い／紛争を変革するファシリテーションのテクニックを学びます。安全、安定性、対立に焦点を置き、参加者は次のことを可能にするテクニックを学びます：「地域社会のニーズや関心を理解するための積極的かつ内省的なリスニングの実践」、「立場表明、見出し、ソーシャルメディアの投稿を超えて問題を再定義し、対立を克服」、「ファシリテーターの言葉が人びとを含めたり排除したりする可能性を理解し、地域社会における対話の実践的な応用例を特定」。

モデレーター：

リンダ・ロウ、元ロータリー平和フェロー（デューク大学およびノースカロライナ大学、2017年）、グローバル・パートナーズ・イン・ピース・ロータリークラブ会員

パネリスト：

ヒラリー・バジェット、女性の健康の擁護者、グローバル・パートナーズ・イン・ピース・ロータリークラブ会員

エイプリル・クラーク、多様性・公平さ・インクルージョンの擁護者、パストガバナー、米国ノースカロライナ州スワンズボロ・ロータリークラブ会員

ソフィア・ファラ、人権擁護活動家、グローバル・パートナーズ・イン・ピース・ロータリークラブ会員

ローリー・スモレンスキー、元ロータリー平和フェロー（クイーンズランド大学、2017年）、人権擁護活動家

中東での積極的平和：コミュニティによるシステム変化へのソリューション**場所：**Grand Ballroom 2**種類：**ワークショップ

内容：本セッションは、ロータリーと経済平和研究所（IEP）とのパートナーシップの一環として、IEPの「積極的平和の柱」の枠組みを紹介します。参加者は、地域社会における紛争の根本原因に対処するための実践的なツールを探ります。中東・北アフリカの積極的平和アクティベーターとの最近のラーニングの機会を基に、平和構築への新たな洞察とアプローチを紹介します。本セッションの参加目的は、積極的平和の原則を応用してロータリープロジェクトの効果を高める方法を理解することです。

パネリスト：

レベッカ・クロール、ロータリーの「平和構築および紛争予防」重点分野マネジャー

リア・ペレクレスト、IEPのパートナーシップ担当ディレクター

居住環境における調和：持続可能な平和構築の柱としての環境要因**場所：**Grand Ballroom 3

通訳付き

種類：講義

内容：持続可能な平和の追求には、環境要因が大きな影響を及ぼします。環境悪化、資源不足、紛争は相互に影響しています。環境悪化が社会的な緊張を悪化させ、資源をめぐる紛争を助長し、永続的な平和の実現を妨げることから、平和構築の取り組みに重大な影響を与えます。この講演では、環境の持続可能性を平和構築イニシアチブの基盤として活用する革新的なアプローチを探ります。協力、教育、積極的な環境管理を通じて、より持続可能で調和の取れた未来に向けた、強靱かつインクルーシブな平和への道筋を切り開くことができます。

講演者：エブル・カナン・ソックル、国際関係論教授、国連訓練調査研究所（UNITAR）CIFALグローバルネットワーク副所長

平和のためのAI：テクノロジーを活用してより良い世界を構築する**場所：**Grand Ballroom 4**種類：**インタラクティブな講義

内容：参加者は、人工知能（AI）が紛争予防と平和構築のアプローチにどのような変革をもたらしているかを学びます。紛争がエスカレートする前に予測分析によって潜在的な対立を特定する方法、また平和構築者が文化的背景、世論、感情を理解するためにAIを活用する方法を探ります。これらによって、より情報に基づいた共感的な意思決定が可能となります。このセッションでは、AIが平和構築者や組織間の情報共有を強化し、協力を促進する方法に焦点を当てます。また、ロータリーがAIを活用して、平和構築者が新たな紛争を特定し、リソースを最適化し、より効果的な予防戦略を実施するためのグローバルなプラットフォームを構築する方法についても話しあいます。

講演者：ジェリース I. シャヒン、世界銀行の情報システム専門家、ロータリー平和センター委員、ヨルダンのアンマン・シタデル・ロータリークラブ会員

12:15-13:45 仕出しの昼食[目次へ戻る](#)

13:45-15:00 分科会*Grand Ballroom 1-4***分裂をつなく橋：
分断された世界で平和を育む****場所：**Grand Ballroom 1**種類：**インタラクティブなワークショップ

内容：このセッションでは、人びとや集団の人間性喪失につながる分断を防ぐための、私たちの共通の責任は何かを考えます。分断が進む中、ロータリー会員が共通のアイデンティティと価値観を強化するスキルを身につけることが不可欠です。参加者は、理論的な洞察と少人数グループでのアクティビティを通じて、異なる歴史や文化をもつ社会における分断とそのバリエーションの根本的な原因を探ります。また、持続可能性、社会的インクルージョン、平和構築を強調し、分断を埋めるためのアイデアを共有し、インクルージョンを育む方法を話しあいます。参加者は、ロータリーの価値観と四つのテストに沿った実践的な戦略を習得します。

パネリスト：

レベッカ・クロール、ロータリーの「平和構築および紛争予防」重点分野マネジャー

マリア-ガブリエレ・ダブルシン、異文化統合の専門家、アイントホーフエン工科大学の学生平和学プログラムコーディネーター

ビッキー・ピュリッツ、元RI理事、米国ネバダ州スパークス・ロータリークラブ会員

エリザベス A. ユーソビッチ、元RI理事、米国ミズーリ州カンザスシティ・プラザ・ロータリークラブ会員

**Safecity：テクノロジーを通じて
平和、癒し、安全を築く****場所：**Grand Ballroom 2**種類：**ワークショップ

内容：性的およびジェンダーに基づく暴力のクラウドソーシング・マップである「Safecity」を紹介します。世界的に成功したこのテクノロジーの導入によって、社会における暴力の発生と蔓延を特定し、より安全なコミュニティの構築を可能にします。参加者はAIツールを使用して、社会レベルでの平和と暴力について理解を深めます。

ファシリテーター：エルサマリー・ダシルバ、元ロータリー平和フェロー（チュラロンコン大学、2016年）、社会起業家

**キプロスでの平和構築における非公式外交と
市民社会参加の統合****場所：**Grand Ballroom 3

通訳付き

種類：パネルディスカッション

内容：半世紀にわたって断続的に交渉が続けられてきたキプロスでは、対立する南北両者の立場によって、公式協議は行き詰まっています。このような中でキプロスのロータリー会員は、模範となって両社会に恩恵をもたらすプログラムやプロジェクトを協力して開発し、ロータリー会員間の強い友情を築いています。市民社会の専門知識を外交プロセスに統合することで、合意を形成し、実施するための市民の支持が高まります。パネリストは、キプロスの市民社会が直面する課題について話し合い、公式・非公式の外交努力の両方において、関係性と対話を重視するアプローチを推進します。

モデレーター：

クリスティーナ・コヴォツォ-パトロクロウ、キプロスのリマソール・ベレンガリア・コスモポリタン・ロータリークラブ会員

セルタシュ・ギウムシュ、キプロスのキレニア・セント・ヒラリオン・ロータリークラブ会員

パネリスト：

マリア・ハジパヴルー、キプロス大学社会・政治学部准教授

セルタシュ・ソナン、キプロス国際大学政治・国際関係学部長、キプロス・地中海研究センター所長

**次世代が平和を持続させるための
力を備える****場所：**Grand Ballroom 4**種類：**ワークショップ

内容：世界が変化を必要としていることを若者たちに説明する必要はありません。大切なのは、変化を実現するための手段を彼らに提供することです。25歳未満の人びとは世界人口の大半を占め、私たちが直面する最も困難な問題を引き継ぐこととなります。それにもかかわらず、平和構築プロジェクトやプロセスにおいて、しばしば後回しにされています。米国、ガーナ、その他の国々で若者と協力するロータリー平和フェローとともに、このダイナミックなセッションに参加すれば、若者が生涯にわたって平和を築くための具体的な方法を学ぶことができます。平和教育が未来を変える力となることを伝えるストーリーを聞き、意欲を高めましょう。

ファシリテーター：

ウィズダム・アド、元ロータリー平和フェロー（チュラロンコン大学、2012年、および国際基督教大学、2019-21年）、西アフリカ平和財団のエグゼクティブディレクター

ローレン・コファロ、元ロータリー平和フェロー（ブラッドフォード大学、2015-16年）、米国ピースジャム財団エグゼクティブディレクター

15:00-15:30 休憩**15:30-16:45 第2回本会議****「テクノロジー、メディア、平和構築：対立からつながりへ」***Grand Ballroom 3 & 4*

講演

シェルドン・ヒメルファーフ

パネル

モデレーター：スアト・ベイサン

パネリスト：ヘザー・アシュビー、アイチャ・デメット・アタイ、

ジュリー・ホーク

エンターテイメント

ディエゴ・カルネイロ（チェロ）、ロータリー平和フェロー

**19:00-22:00 平和会議レセプションとディナー
(チケット制)***Grand Ballroom 3 & 4*

司会

ジョン・ヒューコ（事務総長兼CEO）

エンターテイメント

サディク・カバス（カーヌーン）

[目次へ戻る](#)

2月22日 (土)

9:00-10:30 第3回本会議「持続可能な開発： 平和構築における環境問題」

Grand Ballroom 3 & 4

講演

ナダ・エル・アジジ

ヤナ・アブ・タレブ

クミ・ナイドウ

パネル

モデレーター：ローズ・カルダレツリ

パネリスト：ヤシャール・アタシク、

モハメド・デラワール

10:30-11:00 休憩

目次へ戻る



11:00-12:15 分科会

Grand Ballroom 1-4

ロータリー平和フェロー：テクノロジーを通じて可能性と希望を育てる**場所：**Grand Ballroom 1**種類：**パネル／インタラクティブなセッション

内容：参加者は、ロータリー平和フェローとともに、教育と平和構築におけるテクノロジーを活用したアプローチの成果を探り、平和プロジェクトの基盤を拡大し、より多くの機会を創出する方法について考えます。また、各プロジェクトの機能やテクノロジーの活用について提起される問いに加え、問題の特定と明確化から、望ましい結果に向けた段階的な変化を経て、最も効果的な行動を決定するまで、プロジェクトがどのように進められたかを学びます。参加者は、テクノロジーの活用に関する検討事項を特定し、それらに取り組むとともに、テクノロジーを各自のプロジェクトにどのように活用できるか概説するよう奨励されます。

パネリスト：

スーザン・ハートリー、元ロータリー平和フェロー（チュラロンコン大学、2016年）、心理学者、平和の提唱者

フランシス・ジェフリーズ、元ロータリー平和フェロー（チュラロンコン大学、2016年）、平和構築コンサルタント

今日の若者、明日の平和構築者**場所：**Grand Ballroom 2**種類：**パネルディスカッション

内容：このセッションでは、積極的平和の枠組みを強調しながら、平和構築と災害からのレジリエンス（回復力）において若者がリーダーとして果たす重要な役割に焦点を当てます。ロータリーアクト模擬国連プロジェクトのような若者主導のイニシアチブは、若者が持続可能な平和と地域社会への参加をどのように促進しているかを示しています。討論では、若者が信頼を育み、隔たりを埋め、変革をもたらす行動を主導する上で、ほかにない独自の立場にあることに注目します。特にロータリーアクト模擬国連のようなプロジェクトやロータリーのパートナー団体との協力を通じて、若者がさまざまな分野で協力しあい、インクルージョンを推進し、地域社会主導の解決策を見出すことで、世界的な課題に取り組んでいることが紹介されます。

モデレーター：

ビンディ・ラジャセガラン、第3300地区（マレーシア）パストガバナー、National Coalition for Mental Wellbeing（精神衛生のための国家連合）の設立に貢献

パネリスト：

マリア・ヴィットリア・ガルギウロ、元ロータリーアクトクラブ会長、イタリアのサレルノ・エスト・ロータリークラブ会員、仲裁者、積極的平和アクティベーター

スコット・マーティン、元ロータリー平和フェロー（チュラロンコン大学、2017年）、国境なき仲裁者団のパートナーシップマネジャー

ティファナ・リスティッチ、平和のためのロータリー行動グループのメンバー、セルビアのベオグラード・インターナショナル・ロータリークラブおよびベオグラード・メトロポリタン・ロータリーアクトクラブの会員

ロータリーと国際共同委員会が持続的な平和を築く方法**場所：**Grand Ballroom 3

通訳付き

種類：ワークショップ

内容：ロータリーと国際共同委員会（ICC）が、積極的で持続可能な平和を推進する上で果たせる役割を取り上げます。また参加者は、紛争を解決し、平和を築くことが可能であるという認識を広め、平和な社会の実現に向けて取り組む方法、持続可能な平和の推進者となる方法、国際共同委員会のネットワークを活用した世界的な取り組みとして「積極的平和」を推進する方法、知識を行動に移す方法を学びます。

モデレーター：

アンマリー・モスタート、女子の権利と教育の擁護者、第9400地区パストガバナー、南アフリカのイーグル・キャニオン・ロータリーEクラブ会員

ファシリテーター：

モハメド・ガマム、2022-24年度ICCエグゼクティブカウンシル委員長、チュニジアのシディ・ブ・サイド・ロータリークラブ会員

ライス・ヴァン・ワインガーデン、平和のための大口寄付推進計画アドバイザー、オランダのアルメレ・ロータリークラブ会員

気候変動と軍事化：ロータリー行動グループを通じて変化をもたらす**場所：**Grand Ballroom 4**種類：**パネルディスカッションとアクティビティ

内容：平和構築者、ならびに環境持続可能性ロータリー行動グループと平和のロータリー行動グループのメンバーが、世界的な紛争と気候危機に関する科学者と経済学者の最新分析結果を発表します。参加者は、ロータリーをはじめとする団体が「積極的平和」の実現に向けて行っている取り組みについて学び、戦争や気候変動が家族、経済、世界にもたらす影響について理解を深めます。また、気候危機と軍事化が地域を不安定にし、平和への取り組みを破綻させる可能性について考え、気候変動対策と平和への投資が繁栄を促進する可能性と、ロータリー行動グループを通じて平和の目標を支える方法を模索します。

モデレーター：

キャシー・フトルニック、環境コンサルタント、米国オレゴン州ニューバーグ・ロータリークラブ会員

パネリスト：

トム・ベーカー、積極的平和アクティベーター、米国コロラド州ゴールデン・ロータリークラブ会員

アラン・バザズ、平和構築者、起業家、米国オレゴン州レイク・オスウィーゴ・ロータリークラブ会員

12:15-13:45 仕出しの昼食

Grand Ballroom Foyer

13:45-15:15 閉会本会議：**「持続的な平和の構築」**

Grand Ballroom 3 & 4

講演

マーク・ダニエル・マローニー

K.R. ラビンドラン

フレディ・ムタンガ

ステファニー A. アーチック

エンターテイメント

ミリバン・アヴィラル（フルート）

ルスタム・ラフメドフ（ピアノ）

目次へ戻る



その他の情報

バリアフリー・体が不自由な方へのサービス

会場は完全にバリアフリーです。会場での車いすのレンタルはご利用いただけません。

ビジネスセンター

M2階にビジネスセンターがあります。

服装

母国の慣習に適ったビジネスカジュアルの服装でご出席ください。

上着預かり所

会場のM4階にあります。ご利用時間：

2月20日 (木)	17:00-21:15
2月21日 (金)	7:00-22:30
2月22日 (土)	8:30-15:45

ホテルM4階の上着預かり所では、荷物やバッグをお預かりすることはできません。ロータリーは、所持品の紛失または盗難の責任を一切負いかねますのでご了承ください。

行動規範

ロータリーは、互いの礼儀、尊厳、尊重を重んじる環境づくりに努めています。同胞の精神は私たちの強みであり、全体の成功にも不可欠です。このため、出席者、ボランティア、代表者、参加者は、責任ある社会人として協力的な態度で、ロータリー職員との接触も含むすべての交流において[RIプログラムの行動規範](#)に沿って行動することが求められます。

遺失物取扱所

お忘れもの、または拾いものをされた場合には、会場監督事務所 (M4階、Meeting Room 2「MR2」) までお越してください。ロータリーは、所持品の紛失または盗難の責任を一切負いかねますのでご了承ください。

手荷物預り所

会場では、ホテルの宿泊客以外の会議出席者の荷物をお預かりすることはできません。

音楽と視覚資料

国際的著作権法に遵守し、RIでは会議中に使用された音楽や視覚資料、動画、画像を公開、使用許可、または提供することはできません。

写真

ロータリー会長主催平和会議、会議中の夕食、その他の関連行事に出席、参加、または訪問することによって、出席者、参加者、来訪者、講演者、出演者、業者 (以下総称して「あなた」) は、自身およびあなたの子どもまたは同会議であなたに同行している18歳未満のすべての子どもについて、写真、インタビュー、録音、録画 (総称して「記録物」) を含むあらゆる方法で撮影される場合があることをあらかじめ了承したものとみなされます。ロータリーは写真と記録物を、そのウェブサイト、出版物 (印刷および電子ファイル)、ストリーミング、ソーシャルメディアなどで使用し、歴史的および調査の目的で、同資産を保管する可能性があります。あなたは、国際ロータリーまたはロータリー財団にいかなる負債または責任を負わせることなく、写真と記録物を、推進、マーケティング、教育的目的のために使用、複製、提示、修正、配布、出版、再制作、放送、配信、ストリーミング、ウェブキャスト、公共の場での上映、翻訳、複写、改造、派生的な作品の制作を認める永久的、取消不能な、使用料無料の世界的な権利を国際ロータリーとロータリー財団に付与するものとします。

ロータリー会員以外の本会議講演者およびエンターテイナーの録音・録画と写真撮影は禁止されています。

[目次へ戻る](#)



プライバシー

ロータリーは、あなたおよび子どもまたは未成年者のプライバシーを重視しており、あなたがロータリーと共有した個人データにはロータリーのプライバシー方針 (rotary.org/privacy) が適用されます。

瞑想／祈祷の部屋

プライベートな瞑想のために、会場のM2階に静かで平穏なスペースが設けられます。信仰や宗派を問わずどなたでもご利用いただけます。

登録

同会議のチケットは既に完売しており、現地でのチケット販売は予定されていません。ご登録とバッジの受け取り時間は以下の通りです：

2月20日 (木)	17:00-21:00
2月21日 (金)	7:30-11:00

登録者バッジ

すべての参加者にはネームバッジが渡され、会議場内では常時これを着用することが義務づけられます。本会議、分科会、ロータリーチケット制ディナーの会場入口で、係員がこのバッジを読み取り機で確認します。ロータリーは、会議参加者の個人データ保護に努めています。このため、取り扱いに注意を要する個人情報が入力されることはありません。詳しくはロータリーのプライバシーの方針をご参照ください。あなたは、会長主催平和会議または関連イベントに登録することにより、出席を円滑にするためにあなた自身およびあなたの子どもまたは同会議であなたに同行しているすべての未成年の個人情報を使用されること、また、会議のサポートまたは健康と安全を理由に、第三者業者と個人情報が共有される可能性があることを理解していることを確認したものとみなされます。

出席者は登録者バッジを受け取る際、安全のため、写真入りの身分証明書（パスポートまたは運転免許証）を提示する必要があります。RIは、会議中いつでも写真入り身分証明書の提示を求める権利を有しています。無作為に、バッジの記載情報と写真入り身分証明書の照合確認が行われることがありますので、あらかじめご了承ください。写真入り身分証明書とバッジの記載情報が一致しない場合は、バッジが没収され、登録料の返金なしに退場を命じられることとなります。会議場にいる人、および持ち込まれるすべての手荷物とその他の物品は検査の対象となります。検査を拒否した出席者は、会場と会議への入場を拒否されることがあります。

目次へ戻る



安全とセキュリティ

応急医務・非常時

会場に応急処置室はございません。緊急な医療処置が必要となった場合は、次の人に連絡してください。

- 会場監督（赤いたすき着用）
- 会場の警備係
- ロータリー職員（「STAFF」バッジまたは青いロータリースタッフ用シャツを着用）

近くの病院・救急医療

- Memorial Hospital（Şişli）
（ホテルから1.7キロ）病院
- American Hospital（Nişantaşı）
（ホテルから1.9キロ）病院
- Uğur Eczanesi Pharmacy（Bomonti）
• Elysium Eczanesi（Bomonti）薬局
- Dentistanbul Dental Hospital（Beşiktaş）
歯科院

健康とウェルビーイング

RIならびにホスト組織委員会は、平和会議開催都市への（からの）移動や開催都市で生じた参加者の負傷もしくは健康問題に関して、一切責任や賠償責任を負いません。

医療費、医療事態に関連する避難、海外滞在中の不慮のけが・疾病による帰国の費用を賄うための旅行保険に加入することをおすすめします。現在加入中の保険が平和会議に出席中も適用されると確認済みである場合を除き、その保険が医療緊急事態に適用されないと想定するのが妥当です。

個人の安全

イスタンブールには世界中から訪問者が訪れますが、世界のどこにでも共通するように、観光者には注意が必要です。以下のことに留意しましょう：

- 会場を出るときは、登録者バッジを外し、安全なポケットまたはバッグに入れる。バッジを付けたままにしておく、スリやひったくりに狙われやすくなります。
- 常に用心する。毅然とした態度で人と目を合わせるようにする。
- 必要な物だけ持ち歩く。貴重品は最小限にし、多額の現金を持ち歩かない。クレジットカード、保険証、パスポート、重要な身分証明書のすべてを、同じ財布やバッグに入れて持ち歩かない。
- 財布を手の届きにくい所にしまう（男性はズボンの前ポケットもしくは上着の内ポケット、女性はバッグの深い所）。バッグは身体の前部に手で覆うようにして持つ。
- 銀行、ATM機、電車の駅やバスの停留所の近くでは特に注意、警戒する。
- ロータリーから提供された参加者バッグは、外出中はホテルの部屋に残しておき、ほかのバッグを使う。

対面での参加に伴うリスク

あなたは、会長主催平和会議に参加するにあたり、人がいる場所でウイルスや伝染病にさらされるリスクがあること、イベントへの参加によってそのリスクを負うことを認めたものと見なされます。また、物理的距離の維持やマスク着用を含め、国際ロータリーおよびすべての地方自治体や国の法律、法令、規則に従うことに同意したものとみなされます。

[目次へ戻る](#)



会場監督

経験豊富なロータリー会員とそのパートナーが会場監督として会場各所に配員され、サポートと案内にあたります。見分けがつきやすいように、会場監督は赤いたすきを着用します。出席者は会場監督の指示に従ってください。

同時通訳

すべての本会議と一部の分科会は英語で行われ、同時通訳が日本語、英語、アラビア語、フランス語、イタリア語、トルコ語で提供されます。同時通訳 (SI) を利用するには、同時通訳が利用できるセッションに入る際にQRコードを自身のスマートフォンでスキャンする必要があります。通訳画面が開いたら、希望する言語を選択してください。ヘッドフォンとインターネット接続が必要です。同時通訳が提供される部屋では、英語とその他の利用可能な言語での自動キャプション (字幕) も提供されます。

同時通訳に関する一般的なご質問は、Grand Ballroom Foyerの通訳カウンターにお立ち寄りください。

喫煙

会長主催平和会議では、喫煙が認められていません。喫煙する参加者には、会場の屋外に指定の喫煙エリアが設けられます。

交通

会議に付随して送迎サービスは提供されません。

[目次へ戻る](#)



謝辞

この会議の企画委員会、ホスト組織委員会、会場監督、講演者、ボランティア、分断された世界を癒すためのロータリーの取り組みを支える出席者の皆さまの多大な貢献に心から感謝いたします。また以下の方々に、特別な感謝を申し上げます（敬称略、順不同）。

オットー&フラン・ウォルター財団

Robert Chuang & Yuan Chen

Chang Mei-Jen

Chen Chien-Ying

Chen Jeng-Ling & Chen Fa-Hui

Hou Dai-Liang & Helen Hou

Hsieh Yen-Shen & Catherine Hsieh

Hsu Tang Chih & Wei Yin-Chen

Huang Peng-Hsi & Tsai Wan-Hsiang

水野功・利津子

Lin Luan-Fong & Hsu Kun-Pai

Liu Chi-Tien & Yin Hsiu-Jung

Liu Yun-Yu & Li Kuang-Chin

金杉誠

Mitzi Leung

Tsai Cheng-Te & Tsai Shu-Wen

Tseng Gow-Fong & Yeh Lan Fang

Yang Yao-Tsung & Chuang Pi-Chen

Yen Ching-Hua & Lai Shu-Fen

Ifateks

ロータリー第2420地区

Universal Travel Services

エンターテイメント

ブックチェックメジエ

民族舞踊グループ

ディエゴ・カルネイロ（ロータリー平和フェロー、チェロ）

サディク・カバス（カーヌーン）

ミリバン・アヴィラル（フルート）／

ルスタム・ラフメドフ（ピアノ）

会議企画委員会

サファク・アルパイ（委員長）

サーディア・アグリフ

スアト・ベイサン

イングリッド・バーゲット

クリスティーナ・コヴォツォ-パトロクロウ

モハメド・デラワール

ダニ・フェスラー

トム・ガンブ

ジャミール・モアワド

会議ホスト組織委員会

ムラト・チェリク（委員長）

ハサン・アクバイラク

サファク・アルパイ

スアト・ベイサン

ゲイ・ビナーク

グルペリ・グルピナール

ムラト・セビンチ

ムスタファ・デブリム・ヤルチン

[目次へ戻る](#)

